

## 参議院議員通常選挙・投票の流れ

### ～投票日前～

- 候補者や政党の情報を次の方法で集めましょう
- ▷インターネット
  - ▷演説会・街頭演説
  - ▷冊子状公約集・選挙公報
  - ▷政見放送
  - ▷公開討論会



### 投票所入場整理券

- ▷選挙の公示日までに届きます。
- ▷投票所に持参しましょう。



### 期日前投票・不在者投票

- ▷投票日当日に用事があるなど、投票所で投票できない人が対象
- ▷市役所で、公示日の翌日から投票日の前日、午前8時30分～午後8時



### ～投票日当日～

- 投票時間・場所**
- ▷投票日の午前7時～午後8時までです。
  - ▷投票所入場整理券に記載されている投票所で投票します。
  - ※投票所は4～7箇所をご覧ください。

2種類の投票があります

**①選挙区選挙**  
〈大阪府選出議員選挙〉

原則、都道府県の区域で行われ、有権者は候補者名を記載して投票します。

1枚目

投票箱

候補者名

**②比例代表選出議員選挙**

全国を1つの単位として行われ、有権者は候補者名または政党名のいずれかを記載して投票します。

2枚目

投票箱

候補者名

または

政党名



### 満18歳以上になる人は…

投票日当日に、満18歳以上になる人が対象です。また、選挙期間中に18歳になる人は、生年月日によって期日前投票ができる期間が異なります。期日前投票ができない期間は、不在者投票での投票となります。

※18歳以上の人が悪質な選挙犯罪に関わった場合は、成人と同様に刑事裁判を受ける可能性があります。

今夏の選挙は、70年ぶりに選挙法が改正されたことで、満18歳以上が選挙権を持つ注目の選挙です。若い世代のみなさんにも政治への関心を高めていただき、ぜひ投票に行ってくださいと願っています。



選挙管理委員会  
大森正委員長

### 意外と高い!?

### 交野市の投票率!

右表は、府内の投票率を順位で表したものです。

府内平均「参議院議員通常選挙52.72%」「衆議院議員総選挙50.67%」を超え、交野市の投票率は上位になっています。

これは、市民のみなさんの政治への関心や意識が高いことの表れです。今回の選挙でも、さらに投票率が上がるよう、有権者のみなさんは、投票に行きましょう。

#### 〈第23回参議院議員通常選挙の結果〉

順位	市町村名	投票率
1	豊能町	64.84%
2	島本町	59.72%
3	交野市	59.44%
4	岬町	58.99%
5	千早赤阪村	57.59%
6	吹田市	56.71%
7	高石市	56.41%
8	池田市	55.96%
9	豊中市	55.72%
10	河南町	55.65%

#### 〈26年衆議院議員総選挙の結果〉

順位	市町村名	投票率
1	豊能町	63.33%
2	島本町	63.28%
3	岬町	61.71%
4	千早赤阪村	59.48%
5	交野市	59.46%
6	高槻市	57.62%
7	池田市	55.69%
8	吹田市	55.68%
9	枚方市	55.40%
10	能勢町	55.10%

# 投票に行こう

## ～選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました～



### 大切な選挙制度

私たちがより良い暮らしを願って、私たちの代わりにその思いを実現してくれる人々を選ばず組む「選挙」で、私たちの願いを実現させるための大切な機会です。

選挙権年齢が引き下げられる背景には、国際的な選挙権年齢引き下げの流れや、若年層の政治への関心を向上させ、政治的影響力を高める目

平成27年6月に公職選挙法が改正され、28年6月19日以降に選挙期日が公示される国政選挙から、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられます。18歳以上20歳未満の約240万人が、新たに投票できるようになります。選挙期日までに満18歳になれば、今年実施する参議院議員通常選挙から投票ができます。選挙権のある家族などと一緒に、投票に行きましょう。

問い合わせ 選挙管理委員会事務局 (TEL 892・0121)

### 日本の選挙の歴史〈法律の制定・改正〉

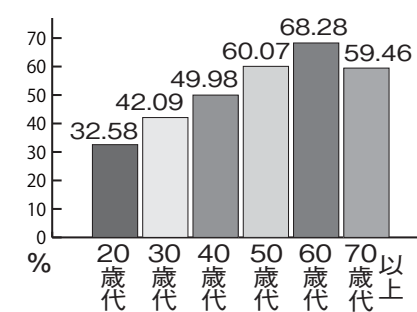
- 明治22年 = 25歳以上で国税を15円以上納めた男性
- 明治33年 = 25歳以上で国税を10円以上納めた男性
- 大正8年 = 25歳以上で国税を3円以上納めた男性
- 大正14年 = 25歳以上の男性
- 昭和20年 = 20歳以上
- 平成27年 = 18歳以上

### 若い世代の投票率

26年の衆議院議員総選挙における年代別投票率を見る

的があり、70年ぶりに公職選挙法が改正されました。自分の意見が通らない可能性があるからといって、国の行方を決める大事な選挙に参加するのをやめてしまうと、投票した一部の人の意見だけに基いて、政治が行われることになりかねません。そうならないためにも、必ず投票しましょう。

#### 〈26年衆議院議員総選挙の年代別投票率〉



若い世代の投票率が低くなると、若い世代の声は政治に届きにくくなってしまいます。その結果、若い世代に向けた政策が実現しにくくなったり、実現するのに時間を要する可能性があります。

と、20歳代の投票率32.58%に対して、60歳代は68.28%と2倍以上の差がありました。また、26年10月の人口推計を見ると、20歳代の約1300万人に対し、60歳代は約1800万人と1.4倍ほどの差があります。これらを計算すると、20歳代の投票数は約420万票、60歳代の投票数は約1240万票となり、票数にするとおよそ3倍になります。